日野川水系流域治水プロジェクト【位置図】

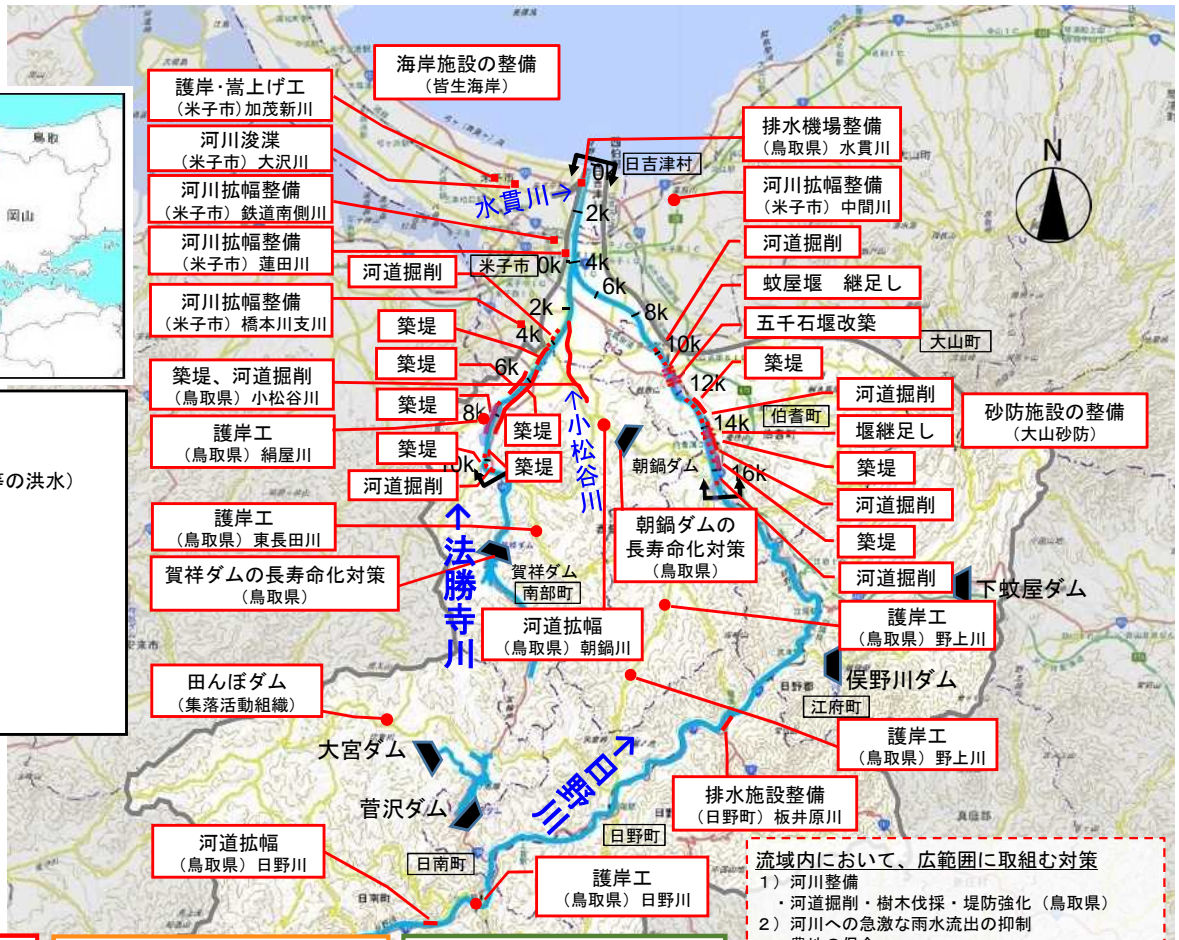
～ひと・ものが行き交い、くらし豊かな日野川流域を総力で守る流域治水対策～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、日野川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
○日野川は、一度氾濫が起これば、下流低平地に広範囲に浸水被害が広がりかつ長期化する特性を有しており、洪水時の水位を下げる河道掘削や内水被害を軽減する排水機能増強などの事前防災対策を進める。
○以下の取り組みを実施していくことで、国直轄区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和20年9月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指します。

【位置図】

【凡　例】

- 浸水想定範囲（戦後最大規模の洪水と同等の洪水）
- 国直轄区間
- 堤防の築堤等
- 樹木伐開・河道掘削等
- 堰改築等



流域内において、広範囲に取組む対策
1）河川整備
・河道掘削・樹木伐採・堤防強化（鳥取県）
2）河川への急激な雨水流出の抑制
・農地の保全
（多面的機能支払・中山間直接支払の活動組織）
・間伐等の森林整備
（鳥取森林管理署・鳥取県、森林整備センター）
3）河川への土砂流出を抑制、土砂災害の軽減・防止
・治山・砂防施設整備・長寿命化対策（鳥取県）

河川改修（日野川）

土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え支援

構造強化事例

左：危機管理型水位計
右：河川監視カメラ

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

対策内容
- 築堤、河道拡幅、河道掘削、堰改築、樹木伐開　等
- 排水機場整備、排水施設整備　等
- 利水ダム等を含む６ダムにおいて、事前放流等の実施・体制構築
（関係者：国、鳥取県、中国電力（株）等）
- 間伐等の森林整備　　等
- 治山・砂防施設の整備・長寿命化対策　等
- ダムの長寿命化対策
- 田んぼダムによる流出抑制対策

■被害対象を減少させるための対策

- 土砂災害特別警戒区域内に所在する住宅や避難所の建替え等の支援
- 水害リスクを考慮した立地適正化計画の策定及び居住誘導

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり
- 防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
- あんしんトリピーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供
- マイタイムラインの作成
- 水位計・監視カメラの設置
- 要配慮者が確実に避難できる避難計画作成等の支援
- 感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備
- 土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進
- 土砂災害警戒情報と危険度情報の提供

■グリーンインフラの取り組み　詳細次ページ

日野川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～ひと･ものが行き交い、くらし豊かな日野川流域を総力で守る流域治水対策～

●グリーンインフラの取り組み　『アユ、サケ、ヨシノボリ類を指標とした動植物の生息・生育環境の保全・再生』

○日野川は、その源を三国山に発し、大山隠岐国立公園に指定されている大山蒜山地域の麓を流下し、瀬･淵や堰による湛水区間、水際や中州の樹木等がみられ、中国地方最高峰である大山の雄大な景観と調和しており、次世代に引き継ぐ豊かな自然環境が多く存在しています。

○日野川水系においては、河道掘削、堰改築等にあたり、アユ、サケ、ヨシノボリ類などを指標とする動植物の生息･生育環境の保全･再生を目標として、魚類等生物移動の縦断的連続性を確保するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進します。

凡例
- 国直轄区間
- 堤防の築堤等
- 樹木伐開･河道掘削等
- 堰改築等
- ：治水メニュー
- ：グリーンインフラ関連メニュー

■治水対策における多自然川づくり
- 生物の多様な生息環境の保全･再生
- 瀬･淵や緩やかな勾配の水際の創出･再生
- 水生生物移動の縦断的連続性の確保

■自然環境の保全･復元などの自然再生
- 離岸堤等整備による砂浜保全（皆生海岸）

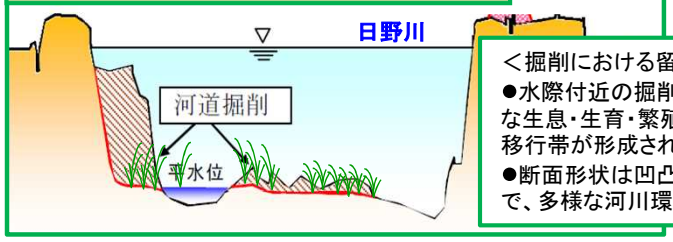
■人と河川の豊かなふれあいの場の確保
- 自然とふれあい、イベントやレクリエーション活動等、水辺空間のふれあいの場を確保
- 福市水辺の楽校整備

■自然環境が有する多様な機能活用の取組み
- 環境学習への場の提供

環境学習イメージ

福市水辺の楽校（完成イメージ）

生物の多様な生息環境の保全・再生のための河道掘削イメージ



＜掘削における留意事項＞
- ●水際付近の掘削形状は、生物の多様な生息･生育･繁殖環境に配慮し、水陸移行帯が形成されるように緩傾斜とする。
- ●断面形状は凹凸のある形状とすることで、多様な河川環境の再生に配慮する。

日野川を遡上するサケ

【全域に係る取組】
- アユ、サケの産卵場となる瀬・淵や水際植生等の生物の生息・生育・繁殖環境への配慮
- 地域ニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

【流域内に係る取組み】

河道掘削（国交省、鳥取県）	⇨生物の多様な生息環境の保全
農地の保全（多面的機能支払・中山間直接支払の活動組織）	⇨良好な景観、地域社会形成
間伐等の森林整備（鳥取森林管理署･鳥取県･森林整備センター）	⇨雨水の貯留・浸透による防災・減災
多様な森林造成（森林整備センター）	⇨生物の多様な生息環境の保全
治山・砂防施設整備（鳥取県）	⇨生物・景観に配慮した施設

※具体的な対策内容については、今後の調査･検討等により変更となる場合がある。

日野川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～ひと・ものが行き交い、くらし豊かな日野川流域を総力で守る流域治水対策～

●日野川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短　　期 】 伯耆町市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、日野川中流部での水位低下を目的とした河道拡幅・河道掘削を実施。
あわせて、河川カメラの整備・避難計画策定・ハザードマップ改訂周知・排水計画の策定などソフト対策を実施する。

【中　長　期】 日野川及び法勝寺川の中・上流部の浸水被害を防ぐため、築堤等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
あわせて、逃げ遅れゼロを目指した、避難計画策定・ハザードマップ改訂周知・関係機関との実践的な訓練・排水計画の策定などソフト対策を 継続的に実施する。

区分	対策内容	事業主体	工期 短期	工期 中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川整備（築堤・河道拡幅・河道掘削等）による越水・破堤の軽減・防止を行う対策	日野川河川事務所、鳥取県、米子市	日野川中流部(五千石堰改築)/国交省	日野川・法勝寺川中上流部(築堤等)/国交省
			小松谷川(築堤・河道整備)等/ 鳥取県、米子市	
	河川への急激な雨水流出の抑制、内水排除等による被害の軽減を行う対策	日野川河川事務所、鳥取県、日野町	流域全体（ダムの事前放流）　/国・鳥取県　等	
			水貫川（排水機場整備）　/鳥取県	
	河川への土砂流出を抑制し、河床上昇等による浸水被害の低減等を行う対策	日野川河川事務所、鳥取県	大山山系(砂防施設の整備)/国交省	
	洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織	印賀川周辺地域	
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内に所在する住宅や避難所の建替え等の支援	鳥取県、米子市、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町	住宅や避難所の建替え支援/鳥取県、市町	
	立地適正化計画に基づく居住誘導	米子市	計画策定/米子市	居住誘導/米子市
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	水防災意識社会の再構築に向けた災害リスクの周知や防災学習の対策	鳥取県、米子市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり / 鳥取県、市町村	
	住民自らの避難判断・行動に役立つ情報の提供体制の構築	日野川河川事務所、鳥取県	河川監視カメラ・危機管理型水位計の整備 / 鳥取県	
	避難所の環境整備	鳥取県、米子市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備 / 鳥取県、市町村	

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

■事業規模
河川対策（約１９２億円）
砂防対策（約１８１億円）

日野川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～ひと・ものが行き交い、くらし豊かな日野川流域を総力で守る流域治水対策～

●日野川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短　　期 】 伯耆町市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、日野川中流部での水位低下を目的とした河道拡幅・河道掘削を実施。
あわせて、河川カメラの整備・避難計画策定・ハザードマップ改訂周知・排水計画の策定などソフト対策を実施する。

【中　長　期】 日野川及び法勝寺川の中・上流部の浸水被害を防ぐため、築堤等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
あわせて、逃げ遅れゼロを目指した、避難計画策定・ハザードマップ改訂周知・関係機関との実践的な訓練・排水計画の策定などソフト対策を 継続的に実施する。

区分	対策内容	事業主体	工期	
			短期	中長期
グリーンインフラの取り組み	生物の多様な生息・生育環境の保全・再生、水生生物移動の縦断的連続性の確保　等	日野川河川事務所 鳥取県	流域内河川の河川整備等/国交省、鳥取県	
	福市水辺の楽校整備	日野川河川事務所	米子市福市地区　水辺の楽校整備　/国交省・米子市	
	環境学習の場の提供	日野川河川事務所	日野川中上流部・法勝寺川　/国交省	
	離岸堤等整備による砂浜保全	日野川河川事務所	河口付近の海岸で実施／国交省	
	間伐等の森林整備に伴う雨水の貯留・浸透による防災・減災	鳥取森林管理署、 鳥取県、森林整備センター	流域内で実施／鳥取森林管理署、鳥取県、森林整備センター	
	多様な森林造成に伴う生物の多様な生息環境の保全	森林整備センター	流域内で実施／森林整備センター	
	県管理区間の氾濫を防ぐ河道掘削に伴う生物の多様な生息環境の保全･再生	鳥取県	県管理区間全体の河道掘削／鳥取県	
	県管理区間の氾濫を防ぐ護岸施設の整備に伴う生物・景観に配慮した護岸	鳥取県	県管理区間　日野川、朝鍋川、野上川で実施／鳥取県	
	治山･砂防施設の整備に伴う生物･景観に配慮した施設	鳥取県	流域内で実施／鳥取県	
	農地の保全に伴う良好な景観、地域社会形成	鳥取県	流域内で実施／鳥取県	
	ささふく水辺公園指定管理に伴う 河川環境整備及び水辺空間の創出	伯耆町	伯耆町ささふく水辺公園を管理／伯耆町	
	洪水の流出を抑制する田んぼダムに伴う雨水貯留による防災・減災	集落活動組織	流域内の水田で実施／集落活動組織	

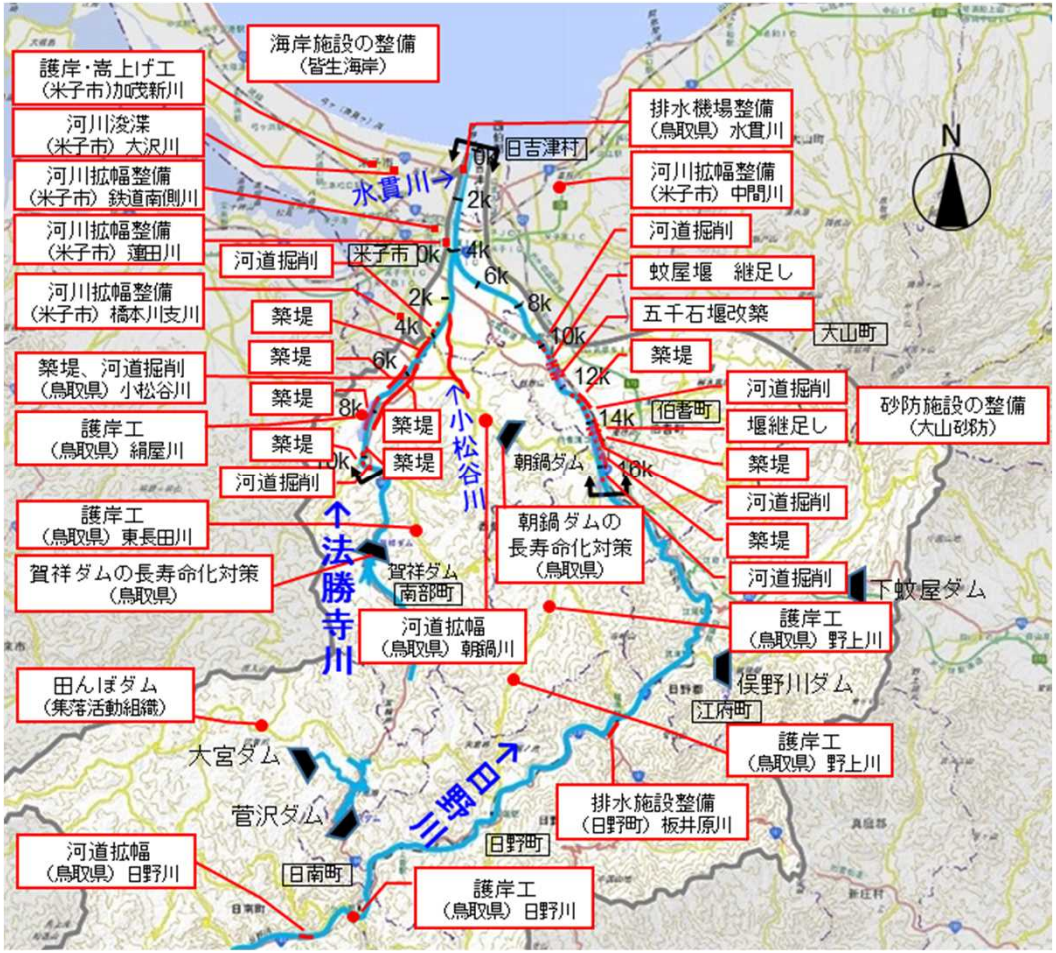
日野川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

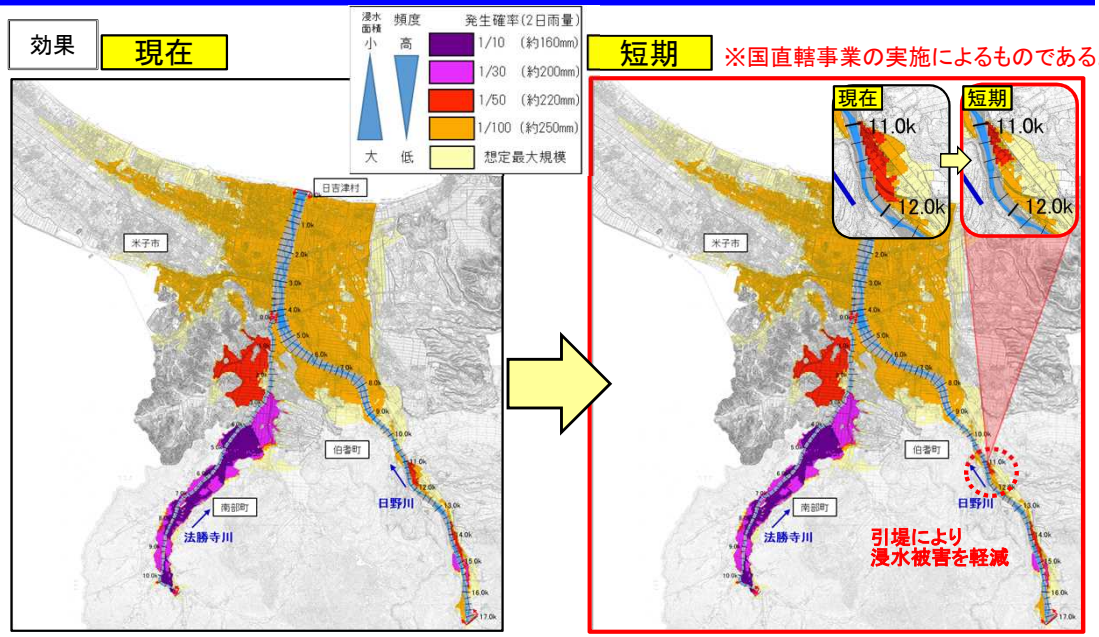
～ひと・ものが行き交い、くらし豊かな日野川流域を総力で守る流域治水対策～

国交省短期整備（5カ年加速化対策）目標：河川整備率　約65%→約80%

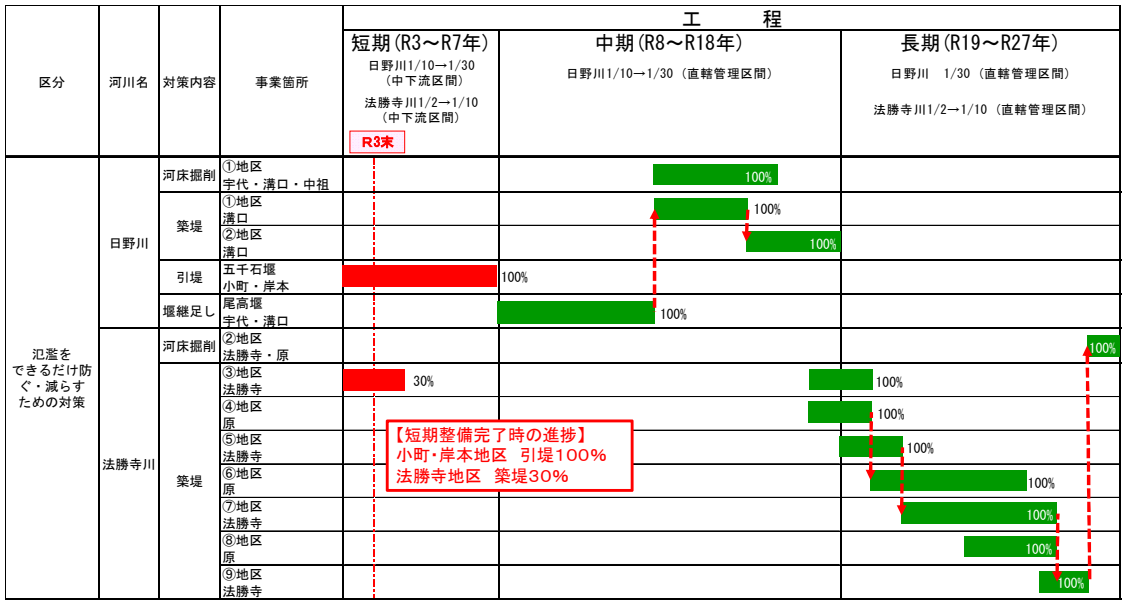
【短期完了時】
上細見地区の築堤事業及び、小町・岸本地区の河道掘削・引堤事業のR7完了に伴い、中下流区間で戦後最大昭和20年9月洪水をHWL以下で流下させることが可能。

実施箇所・対策内容





注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮していない。
内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

日野川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～ひと・ものが行き交い、くらし豊かな日野川流域を総力で守る流域治水対策～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）

整備率：80%

（概ね５ヵ年後）

農地・農業用施設の活用

7市町村

（令和３年度末時点）

流出抑制対策の実施

0施設

（令和２年度実施分）

山地の保水機能向上、および土砂・流木災害対策

治山対策等の実施箇所　8箇所

（令和３年度実施分）

砂防関係施設の整備数　5施設

（令和３年度完成分）

立地適正化計画における防災指針の作成

0市町村

（令和３年12月末時点）

避難のためのハザード情報の整備

洪水浸水想定区域　4河川

（令和３年12月末時点）

内水浸水想定区域　0団体

（令和３年11月末時点）

高齢者等避難の実効性の確保

避難確保計画　洪水　226施設　土砂　27施設

（令和３年９月末時点）

個別避難計画　4市町村

（令和４年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水被害に対応した河川整備】

築堤工事（伯耆町上細見地区）

河道掘削工事（伯耆町大殿・吉長地区）

日野川流域では、頻繁に起こる水害を軽減させるため、築堤や河床掘削などによる河川整備を実施しています。

被害対象を減少させるための対策

【立地適正化計画における防災指針の検討】

（米子市）

抜粋：第2回米子市立地適正化計画検討委員会資料の一部

米子市では、立地適正化計画の策定に向けた米子市立地適正化計画検討委員会が令和3年8月、10月及び令和4年1月に開催されました。

学識者や商工会議所などの外部専門家の委員で構成され、第2回目の委員会では米子市の現状の整理や市民アンケート調査の結果分析などが幅広く議論され、第3回目の委員会では立地の適正化に関する基本的な方針が議論されました。

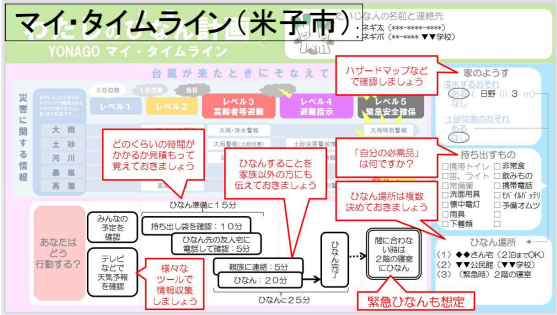
被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

【地域の防災体制づくり】

浸水表示看板（南部町）

防災促進（鳥取県）

マイ・タイムライン（米子市）



街角で浸水深を掲示したり、世帯ごとの「マイ・タイムライン」、集落ごとの「支え愛マップ」を作成することにより、防災意識の向上及び円滑な避難行動を促します。